

1. キャンパスライフ委員会の活動の概要

本学は、すべての学生と教職員が互いに人権を尊重し合い、心身ともに健康で快適なキャンパスライフを送ることのできる環境づくりをめざしています。そのために本委員会は、良好な大学生活の障害となるハラスメント（様々な場での嫌がらせやいじめ等の人権侵害）について、その解消・予防を図るための諸活動を行っています。

本委員会は、大学教員11名と事務系職員2名の計13名の委員で構成されています（別掲1）。本委員会の下には、14名の教職員からなるキャンパスライフ相談員（別掲2）を置き、人権侵害等に関連した相談に応じる個別の窓口としています。留学生からの相談については、英語、中国語、韓国語で対応することのできる相談員を置き、便宜を図っています。また、心理的支援のための専門委員4名を置き、専門的なカウンセリングを提供しています。

平成30年度は、委員会を定例11回、臨時1回の計12回、委員・相談員・専門委員連絡会を2回開催したほか、相談案件への対応、人権侵害等に関する広報・啓発活動（各種のオリエンテーションにおける委員会活動の説明、リーフレットや『TGU』、Webページ、メールマガジンでの情報提供、ハラスメント防止研修会）などを行いました。

また、委員会内に2つのワーキンググループを常設し、案件処理の迅速化に資する規則等の見直しや広報・啓発活動の強化・充実等に努めました。

本委員会は、規程によって1年間の活動を全学の構成員に報告することになっていますので、以下に要点を記します。

2. 相談案件への対応

平成30年度に本委員会に寄せられた相談は計12件でした。相談内容の内訳は、アカデミック・ハラスメントに関するもの3件、パワー・ハラスメントに関するもの3件、アルコール・ハラスメント及びパワー・ハラスメントが複合したもの1件、セクシュアル・ハラスメント及びパワー・ハラスメントが複合したもの1件、それら以外のもの4件です。このうち1つの案件について、調査委員会を設置して事実関係の調査を行いました。また、慎重な対応が求められた1つの案件については、委員長及び副委員長が対応しました。これら2つの案件については、いずれも大学としての対応が求められるとの本委員会の審議結果に基づき、学長に提言書を提出しました。

本年度の相談の内容としては、教員から学生への指導をめぐる問題や職場の人間関係の中での問題が多くみられました。個々の案件については、できる限り迅速に事実関係を把握し、相談者の意向を尊重しつつ、適切な解決策を講じることに努めました。深刻な状況にある相談者に鑑み、慎重な対応が求められる事も多く、案件処理に時間がかかることになり、より一層の迅速さを実現することが課題となっています。

3. 人権が尊重される良好なキャンパスライフづくりのための広報・啓発活動

（1）相談体制の周知活動

本委員会に関する紙媒体のリーフレットや各種案内を学内の各所で配布しているほか、本学のWebサイト上に委員会の専用ページを設けて「キャンパスライフ・ガイドライン」や相談窓口等につい

ての情報を発信しています。「東京学芸大学メールマガジン」においても、毎号「お知らせ」欄に委員会のWebページのURLを掲載しています。

また、4月の新入生オリエンテーションと10月期入学の留学生オリエンテーションでは、人権問題に関する本学の姿勢やキャンパスライフ委員会の活動を紹介し、相談員の所属・氏名と連絡方法を記したリーフレット「相談できます」等を配布するとともに、「キャンパスライフ・ガイドライン」の活用を勧めました。

(2) 人権尊重の意識を喚起するための啓発活動

- ① 年2回発行された学内広報誌『TGU』に毎号キャンパスライフ委員会からのメッセージや人権侵害防止の呼びかけを掲載しました。
- ② 総務部人事課と共催で常勤の大学教員を対象としたハラスメント防止研修会を開催し、キャンパスにおけるハラスメントに関する理解を深め、ハラスメントの防止に役立てる機会を提供しました。

4. 連絡会の実施

本委員会では、例年、委員・相談員・専門委員を対象にした2回(6月と1月)の連絡会を開催し、委員等の活動の質的向上を図る研修を実施しています。本年度は、6月の連絡会では、臨床心理士の資格を持つ学内講師を招き、相談員が相談を受けたときの対応の流れ・基本、聞き取りのポイントといったことから委員会の業務や学内の相談体制等を学ぶ機会を設けました。また、1月の連絡会では、本学の産業医でもある保健管理センターの教員を学内講師として招き、ストレスチェック制度及びストレスチェック制度に基づく面接指導について学ぶ機会を設けました。

<p><別掲1> <u>平成30年度キャンパスライフ委員会委員</u> ◎藤本 光一郎(自然科学系環境科学) ○朝野 浩行(芸術・スポーツ科学系美術) 見世 千賀子(国際教育センター) 菅野 敦(教育実践研究支援センター) 山口 恵子(人文社会科学系社会学) 阿部 始子(人文社会科学系英語科教育学) 小林 晋平(自然科学系物理科学) 高橋 弘(自然科学系数学) 花澤 洋太(芸術・スポーツ科学系美術) 山本 訓久(芸術・スポーツ科学系音楽) 鈴木 正志(保健管理センター) 佐藤 守(学務部長) 所 昌弘(総務部長)</p>	<p><別掲2> <u>平成30年度キャンパスライフ相談員</u> 許 夏玲(留学生センター) 下田 誠(教員養成カリキュラム開発連携センター) 湯浅 佳子(人文社会科学系日本語学・日本文学) 牛垣 雄矢(人文社会科学系地理学) 山ノ内 毅彦(自然科学系数学) 山田 道夫(自然科学系分子化学) 正木 賢一(芸術・スポーツ科学系美術) 新海 宏成(芸術・スポーツ科学系運動学) 高山 芳樹(人文社会科学系英語科教育学) 齋藤 ひろみ(人文社会科学系日本語教育学) 李 修京(人文社会科学系アジア言語・文化研究) 須貝 英美子(学務部教育企画課) 相馬 光人(学務部入試課) 染谷 雅子(学務部キャリア支援課)</p>
---	---